

支援プログラムについて

- ① 事業所名： サンクエールの森（多機能事業所）
- ② 作成日： 令和6年11月20日
- ③ 法人（事業所）理念： 創造、想像、熱意、行動、調和
- ④ 支援方針： 病気や障がいを抱えた方、サンクエールの森に集う誰もがそれぞれのペースで人とのつながりを通して成長できること。
その成長が家族やスタッフなど周囲に広がり地域全体へと新たな可能性をもたらす大きな森を創っていく。
- ⑤ 営業時間： 8時30分～17時30分
- ⑥ 送迎実施の有無： 有
- ⑦ 本人支援の内容と5領域の関係性：

健康・生活

- ・ 定期的な心身の把握（毎回体温測定・気分把握）
- ・ 生活リズムの安定（定期的かつ定時に通所）
- ・ 視覚的に「何がどこにあるか」「どこで何をするか」を絵などを

使い具体的に表示し、わかりやすくしている。

- ・ SST、ABA などによる身体的、精神的、社会的訓練

運動・感覚

- ・ ストレッチ、軽い運動
- ・ バランスボールなどでの姿勢保持
- ・ 音楽に合わせて体を動かす遊びや運動

認知・行動

- ・ 天気、気温、日付の把握と確認による感覚・数の認知形成
- ・ 1日の時間帯別活動を示すタイムテーブルの確認による時間の認

知形成

- ・ 粘土、スライムによる物質の変化と感覚の認知形成
- ・ ブロック遊びによる空間把握の認知形成
- ・ 小集団でのゲームでの適切な行動形成、認知の偏りの配慮
- ・ 感覚、認知の偏りに対するリフレーミング
- ・ 季節の変化への興味などの感性形成のための外出・行動

言語・コミュニケーション

- ・ 朝の会で今日の気分・気持ちをプレゼンテーションして言語表

出・受容

- ・個別または小集団での障害の特性に応じた読み聞かせ
- ・ルールなどを絵や絵カードを使って視覚化

人間関係・社会性

- ・アタッチメント形成（面談等で自尊心を高める・認める）
- ・見立て遊び、つもり遊び、ごっこ遊びの組み合わせ
- ・一人遊び、並行遊び、連合的な遊びの組み合わせ
- ・役割分担のある遊びなどの協同遊び
- ・ルールの理解が必要な遊びや集団活動
- ・イベントなどを通じた地域との交流

⑧ 家族支援（きょうだいへの支援も含む）の内容：

日常生活において、介護負担の大きい入浴を当事業所で利用していただくことで介護負担の軽減を図る。各ライフステージにおける悩みを一緒に考え、利用者自身にとって良い方向へ導けるようにする。

⑨ 移行支援の内容：

保育所への移行時には、こどもや家族の意向も踏まえ、同年代の子どもとの仲間づくりができるように支援していく。また、入園、入学などライフステージの切り替えを見据えた将来的な移行に向けた

準備、家庭生活や学校生活の支援、地域で暮らす他の子たちとつながりが持てるように配慮していく。

18歳になり、卒業を迎える時は、保護者の同意を得た上で、これまでの事業所での支援内容について、新たに利用される障害福祉サービス事業所等に情報共有を行って、積極的に連携を図っていく。

地域支援・地域連携の内容：

保育所、幼稚園、学校、相談支援事業所、他事業所など利用者とかかわりの深い関係機関と連絡を取り合い、利用者の状況の把握に努める。

⑩ 職員の質の向上に資する取組：

発達段階に応じた支援ができるように、また、医療的配慮が必要な利用者には適切な医療的ケアができるように研鑽に励む。そのため
の研修等には参加できるように体制を整える。

⑪ 主な行事等：

季節行事・・・水遊び、七夕、クリスマス

療育活動・・・ムーブメント活動、音楽活動